

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2019年1月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記をお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539



2020年12月号

特集

臨床現場での“触れる”の
今後を考える

新型コロナウイルスの世界的な蔓延で、人との距離を取らざるを得なくなりました。この事態を助産の現場ではどう捉え、どのような代替策を講じているのか、さまざまな工夫と、妊産婦や家族に安心を届けている実践をご紹介します。



2020年11月号

特集

母子に向けた流行感染症対策
新型コロナウイルス感染症を中心に
感染症が蔓延しやすい季節を前に、
流行感染症から母子を守るためには、
どんな対策を打てば良いでしょうか？
特集では「注意すべき流行感染症」「
感染症治療薬の母子への影響」などの
テーマの記事を取り上げ、その疑問に
応えます。



2020年10月号

特集

What's new? 最新情報をお届けします!

『乳腺炎ケアガイドライン2020』ダイジェスト

特集は、改訂された『乳腺炎ケアガイドライン2020』の解説です。ここが変わって、何を新しくしたかなどのポイントを挙げました。乳腺炎は高頻度で起きる炎症性疾患です。本ガイドラインは、ケアの標準化を目指す工夫がされています。



2020年9月号

特集

助産師が学び、
実践したい骨盤ケア

骨盤周囲の筋肉を損傷し、出産後、尿・便秘、骨盤臓器脱といった症状を経験するお母さんは少なくありません。これらの疾患の予防・回復に、大きな役割を發揮するのが骨盤ケアです。特集では骨盤ケアを学ぶ意義、実践、セルフケアのポイントに触れています。



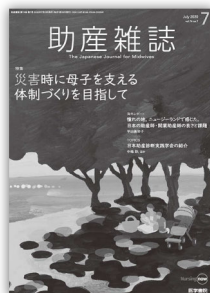
2020年8月号

特集

胎児の病気が見つかった時

妊婦と家族のどんな選択も支える助産師に

妊娠中に、おなかの赤ちゃんの病気が分かることがあります。妊娠継続をするか、それとも産まない選択をするか、妊婦と家族に決断が迫られます。どのような選択でも、妊婦と家族が孤独にならないような具体的な支援策をまとめました。



2020年7月号

特集

災害時に母子を支える
体制づくりを目指して

毎年、さまざまな災害に見舞われる中、お住まいの地域に、いつ大規模な災害が襲うかもしれません。特集を通じて、より適切なケアを母子に届けられるような医療体制が組まれているか、再確認の機会としていただくと幸いです。

2020年 特集

- 6月号 ①「助産」とは何か 改めてその専門性を問う／②助産師の新たなアプローチ 子どもを持つ女子受刑者の出所後も含めた支援とケア
- 5月号 妊娠期からできる虐待防止の方策 「気になる妊婦」を見つけるための連携と支援
- 4月号 妊娠糖尿病 妊娠期から始める女性の健康支援
- 3月号 助産師が活用したい、出産・育児のためのマインドフルネス
- 2月号 外国人妊産婦のケア転換期 在住者・旅行者を受け入れるための“乗り越え課題”とは
- 1月号 自由な発想で助産ケアを発信しよう 社会に広がる助産師の活動

2019年 特集

- 12月号 多胎出産をした母親と家族へ必要なサポートとは